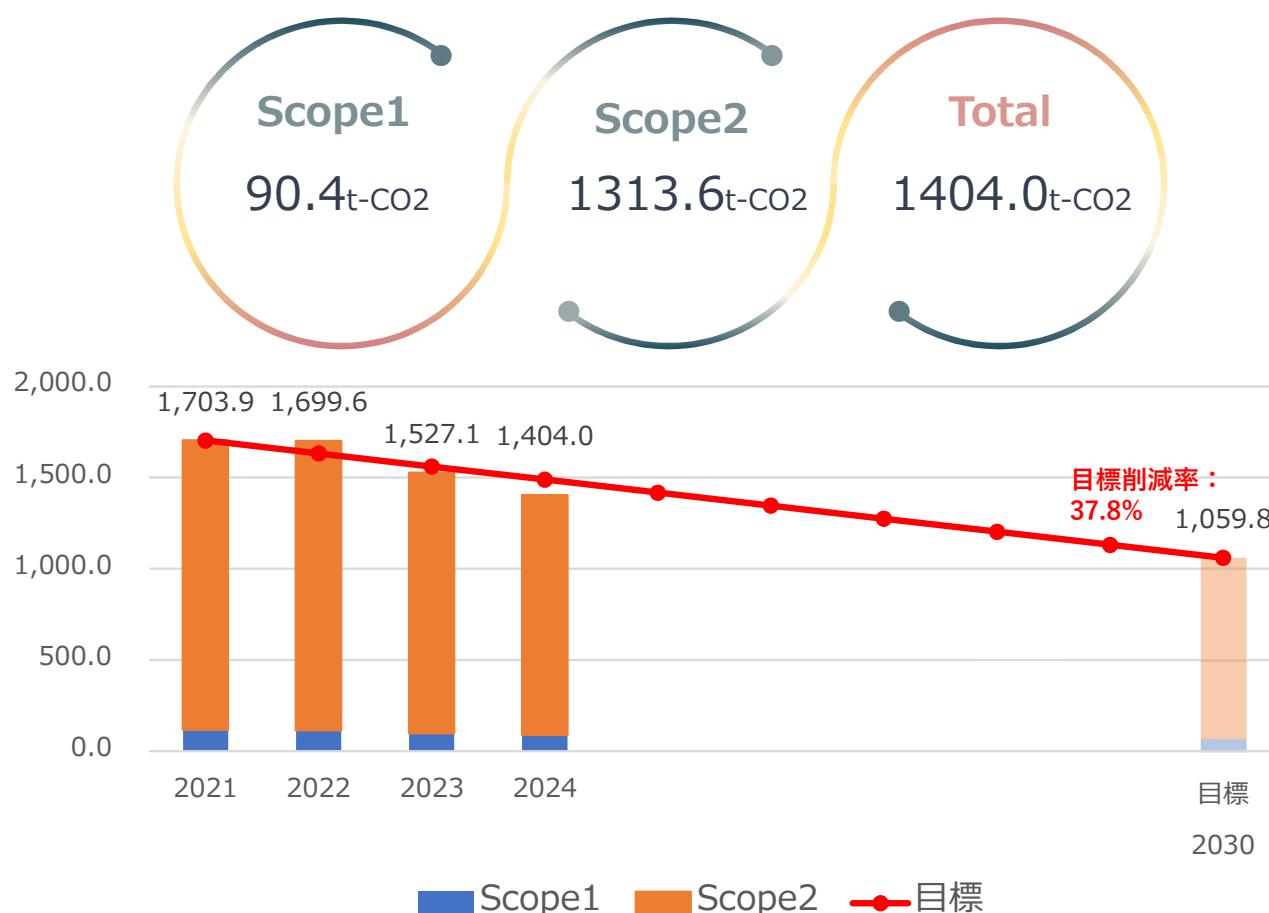


【2024年排出量Data】



担当者より

当社は、2022年10月にSBT（※1）イニシアティブにおける温室効果ガス削減目標の認定を受けており、目標達成に向けて主な排出源である「電力使用」の削減を中心に取り組んでいます。

2024年度は、基準年の2021年比-17.6%となり、目標の-12.6%を上回った結果になりました。削減効果のあった主な取り組みは、熱処理戻し炉への断熱材の設置、全空調設備へのハイブリッドファン取り付けを行い、電力使用量を2%削減する効果がありました。今後も引き続き、省エネ・高効率な設備投資や運用改善を行いながら、2030年目標の達成に向けて着実に排出削減を進めてまいります。

SBTの認定を通じた温室効果ガスの削減を通じて、SDGs（※2）の以下の目標に貢献します



- ※1 産業革命前から地球の気温上昇を2℃未満に抑えるため企業に科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標を設定し、排出量削減を推進することを目的にCDP、国連グローバル・コンパクト、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)の4団体が2015年に共同で設立。
- ※2 Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標。17のゴール・169のターゲットで構成されている。